

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『筋萎縮性側索硬化症患者の骨格筋試料を用いた次世代シーケンシングによる網羅的遺伝子発現解析』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

1978年より現在に至るまで、「筋疾患診断支援および保存と研究利用(筋レポジトリ)(旧課題名:筋疾患診断支援と筋レポジトリの構築)」(主任研究員:西野一三)において承認を受けた方法により保存されている試料のうち、筋萎縮性側索硬化症と診断された症例の骨格筋検体が対象

【研究期間】

研究開始日より2027年3月31日まで

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部 青木 吉嗣

【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

研究課題名:筋萎縮性側索硬化症患者の骨格筋試料を用いた次世代シーケンシングによる網羅的遺伝子発現解析

研究目的:本研究は、筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者由来骨格筋試料を対象に、次世代シーケンシング(next generation sequencing: NGS)による網羅的遺伝子発現解析(RNA-seq)を実施し、ALS筋萎縮症の原因遺伝子を探索することを目的とする。本研究により得られた成果は、ALSにおける筋萎縮性因子を標的とした世界初の新規治療薬の開発につながる可能性がある。

研究方法:筋レポジトリに登録・保管されている計20名のヒト骨格筋試料(ALS患者10名、健常者10名[疾患コントロール含む])を利用する。これら試料よりtotal RNAを抽出し、NGS網羅的遺伝子発現解析(RNA-seq)を実施する。

研究期間:研究実施許可受領後から2027年3月31日まで

【利用又は提供する試料・情報等】

試料:骨格筋

情報等:診療録(年齢、性別、診断名、筋病理検査の検査結果)

提供する試料・情報の取得の方法

作成年月日： 2024年 7月 18日 第1.1 版

試料:診療の一環で採取
情報:カルテの診療録から入手

【利用又は提供を開始する予定日】
研究開始日を予定しています。

【共同研究機関以外の試料・情報を取り扱う機関】

NCNP 筋レポジトリー 研究責任者 西野 一三 (研究代表者)

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所

所属 遺伝子疾患治療研究部 氏名 青木 吉嗣

電話番号 042-34601720

e-mail:tsugu56※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)